



令和4年10月18日（火）発行

学校だより No.9

沼田市立沼田西中学校

【学校教育目標】「高い知性、温かい心、たくましい体をもつ生徒の育成」

《目指す生徒像》
○ 向学 ……自ら学ぶ生徒
○ 礼節 ……思いやりのある生徒
○ 進取 ……挑戦する生徒

《目指す学校像》…生徒が心から「通いたい」と思える開かれた学校

《目指す教師像》…熱意、誠意、愛情のあふれる教師

【本年度の重点目標】「主体性と支え愛の創造～3つの気（やる気・勇気・根気）を伸ばすワンポイントアップ大作戦～」

ご協力いただいた第1回学校評価アンケートの結果をお知らせします

大変お世話になりました第1回学校評価アンケートの結果がまとまりましたのでお知らせいたします。各項目の結果を踏まえ、**更に3つの気を伸ばし主体性と支え愛の実現を目指し職員一丸となって改善策に取り組んでまいります**ので、今後も本校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

A:「はい」「どちらかといえばはい」が80%以上、Bは60%以上、Cは60%未満、⑨⑩は90%以上がAとなっています。

具体的数値項目と改善策	1学期 自己評価
(今回の自己評価がBの具体的数値項目については【改善策】が太字になっています)	
①「学校が重点的に取り組んでいることや子供の学校での様子が分かる」と保護者の80%以上が答えている。 【改善策】 ○現在の取組を継続し、更に充実させる。	A
②学校行事やP.T.A諸活動に保護者の80%以上が年2回以上参加している。 【改善策】 ○現在の取組を継続し、更に充実させる。	A
③「授業が分かる」と生徒の80%以上が答えている。 【改善策】 ○単元を通してためあての設定を行うため、年間計画の見直し等を行い、単元構想に生かしていく。	A
④生徒の80%以上が授業に満足感をもっている。 【改善策】 ○2学期から放課後学習をスタートさせ、学習に取り組む雰囲気を高めていく。 ○計画的に各教科による一人一授業を実施し、教師同士がお互いに良さを取り入れて授業力を高め、教科指導に生かしていく。	A
⑤生徒の80%以上が毎日家庭学習を行っている。 【改善策】 ○「学習プリントコーナー」の活用促進を図るため、生徒にどのようなプリントを追加したかを知らせていく。 ○課題提出が行えるように、個別に声をかけていく。	A
⑥生徒の80%以上が朝読書に進んで取り組んでいる。 【改善策】 ○現在の取組を継続し、更に充実させる。	A
⑦「相手の立場や気持ちを考えた思いやりのある言動を心がけている」と生徒の80%以上が答えている。	A
⑧「学校は悩みやいじめの解消に努めている」と生徒の80%以上が答えている。	B
⑨「いじめをしない、させない、許さない」と生徒の90%以上が答えている。 【改善策】 ○継続して生活記録や生活調査などを活用し、生徒の日常観察を充実していく。また、気になる点がある場合には、迅速に学年を軸に対応し、全職員に情報共有していく。 ○生徒自身が「いじめを許さない」という態度や考えをもてるよう、生徒会によるいじめ防止活動を推進していく。 ○各クラスのいじめ防止スローガンに学級活動や道徳など折に触れ、生徒への意識付けを行っていく。 ○人権感覚調査などアンケートを行い、集計した結果を今後の指導や家庭への啓発に活用していく。	A
⑩生徒の80%以上が、挨拶・返事等適切な言動ができる。 【改善策】 ○気持ちの良い挨拶について、日常的に生徒に指導していく。 ○教室に「学習のきまり」を掲示し、授業中の挨拶、返事、発表の仕方などの指導の充実を図る。 ○朝の会や帰りの会、下校時などに服装や髪型についてチェックし職員が同一歩調で指導する。	A

⑪部活動を通して、心身の望ましい成長や人間関係づくりに効果がもたらされていると生徒や保護者の８０％以上が答えている。	A
【改善策】 ○部活動の意義を踏まえた指導を継続し、所属している部活の中で一人一人の生徒の活動や活躍を認め、自己有用感や達成感を感じられるように指導していく。	
⑫生徒の８０％以上が家で手伝いをしている。	B
【改善策】 ○長期休業中の事前指導やお便りで、家庭における役割分担の大切さについて指導する。 ○道徳の授業で、福祉や奉仕、家族愛について扱うことで、自分ができることについて考えたり実践したりする意欲がもてるように支援する。	
⑬生徒の８０％以上が、ボランティア活動や福祉活動に積極的に参加したり、学校生活の中で困っている人を助けたりして、人の役に立っていると感じている。	A
【改善策】 ○来年度に向けて生徒会や各専門委員会で、ボランティア活動を計画する。 ○道徳や学活の授業で、社会参画の意義や思いやりについて随時触れることで、集団の中で自分達ができることを考え実践できるような気持ちの育成に取り組む。	
⑭生徒の８０％以上が清掃活動に真面目に取り組んでいる。	A
【改善策】 ○清掃の時間には、担当職員が必ず行き、生徒と一緒に清掃をしたり声をかけたりする。 ○整美委員会を中心に、清掃に自主的に取り組んでいくような活動を支援していく。	
⑮生徒の９０％以上が朝食をとっている。	A
⑯生徒の８０％以上が、食事や栄養の大切さを理解し、好き嫌いせずに給食を残さず食べている。	
【改善策】 ○家庭と連携した個別指導を推進する。 ○給食の時間や家庭科・学級活動を中心に各教科との関連を考慮した食育を推進する。 ○給食委員会を中心とした啓発を行っていく。 ○給食時の個別指導を推進する。	
⑰生徒の８０％以上が進んで体力づくりに取り組んでいる。	A
【改善策】 ○教科保健体育を計画的に推進する。 ○部活動や体育的行事等への参加意識の高揚と体力作りの取組を推進する。	
⑱生徒の８０％以上がメディアセーブウィークで自分の目標を達成している。	A
【改善策】 ○保健委員会を中心とした啓発を行っていく。 ○学級指導で意識の高揚を図っていく。 ○家庭と連携した個別指導を推進していく。	
⑲生徒の８０％以上が１日６～９時間の睡眠時間をとっている。	A
【改善策】 ○保健体育や学級指導を中心に睡眠の大切さや意識の高揚を支援していく。 ○保健委員会活動での啓発活動の充実を図っていく。 ○家庭と連携した個別指導を推進していく。	
⑳学校は、施設・設備の安全や生徒の危機意識や自己防衛能力の育成に努めていると、保護者や生徒の８０％以上が答えている。	A
【改善策】 ○現在の取組を継続し、更に充実させる。	
㉑学校は、通学路の危険箇所の確認や生徒の交通事故防止、不審者への対策等に努めていると、保護者や生徒の８０％以上が答えている。	B
【改善策】 ○学校・学年だより、Home&School等を活用し、本校の取組を発信していく。	
㉒学級活動における進路学習や総合的な学習の時間の体験活動等を通して、生徒の８０％以上が自己の生き方について考えている。	B
【改善策】 ○キャリアパスポートを効果的に活用していく。 ○体験学習等の事前事後指導の改善や資料の準備をしていく。 ○三者面談時に適切な資料を提供する。 ○三年生の進路学習・高校体験の改善・充実を図っていく。	
㉓将来の進路などについて生徒の８０％以上が、親子で話し合う機会をもっていると答えている。	B
【改善策】 ○家庭で話し合う機会をつくってもらうための資料を提供していく。 ○一年職業講話学習や二年職場体験学習の改善・充実を図っていく。 ○教員や保護者の体験を共有したり活用したりしていく。	

※生徒の学校生活をより充実させるため２学期もアンケートを実施しますので、よろしくお願い致します。